

地区個別計画に基づく基本計画書（西浦地区）（案）

パブリックコメント募集で提出された意見の概要及び意見に対する考え方

（令和3年6月1日から令和3年6月30日まで実施）

No	提出者	意見の概要	意見に対する考え方
1	A	<p>公共施設完成時の中学校の校舎と運動場の利用について</p> <p>① 高台故、防災の避難所に利用できないか。また防災用品の備蓄倉庫に。</p> <p>② 高齢者の居場所の確保、コミュニティの場として（地域社会？）</p> <p>③ 先端情報技術の利用（教室）。IT、ズーム、テレワーク時代を迎えて</p>	<p>中学校の跡地や建物の活用方法については、今後の検討課題であると認識しています。ご提案いただいたご意見を含め、今後検討を行ってまいります。</p>
2	B	<p>図書館、市民体育館、博物館などの全市民を対象とした公共施設とは違って、地域公共施設はその地域に住む人々の生活・文化・風習によって大きく影響を受ける。西浦町は蒲郡市に一番最後に加わった地域で、それまで独立して行政が運営されてきたところである。また、人口流失現象が一番大きいところでもあり、昔からの階級支配の強い神社中心の文化がまだ色濃く残っているところで、それが西浦の地区の総代区の運営に直結している。</p> <p>その神社中心の文化がしだいに自由を求める若い世代に合わなくなり、知的レベルが高く、生活能力のある若者たちからより自由で住みやすいところ、例えば、幸田のような地域の縛りの少ない、岡崎、豊橋に30分ほどで大きな幹線道路で結ばれている場所に出ていくことにつながってしまっている気がする。</p> <p>今回の公共施設マネジメントはその総代区を超えて、自由な参加を可能とした点で画期的であったし、悲劇的な人口未来予想の中で建設的なワークショップが行われたことは素晴らしいと理解している。</p> <p>公共施設マネジメントのワークショップで出会った南山大学の4年生の若者が就職で消防士を選ぶと言っていたのでついに蒲郡に優秀な消防士が誕生かと思ったら名古屋市で消防士になるとのこと。どうも海外研修が名古屋では受けられるのが魅力であったということだった。教育がうまくいき、優秀な人材が育てば育つほど蒲郡に定着しない傾向があるかもしれない。実際、蒲郡に定着する若者は自分にあつた仕事か蒲郡市にしか見つからないか、あるいは何らかの理由で蒲郡に住まざるをえないかのどちらかだろう。</p> <p>神社等の風習の強いところでは、チャラボコをたくさん子供たちが必要とされることが多く、学校の勉強と地域の文化の担い手としての役割の負担が他地域と比べると重い気がする。その報酬として子供たちには多くのお菓子や図書券などがあたえられている。文化の継承も大切であるが、今後は無理な参加が強要されないことを願っている。人口流失の原因を明確にし、何らかの政策が取られ子供たちが学力以外にも多様なそれぞれに合った生き方が学校という枠組みの中においても提示されることを望みます。</p>	<p>ご指摘のとおり、小中学校や保育園、公民館といった地区の住民が主な利用者となる施設については、地域の特性や特徴を施設に反映させることが重要と考えており、地域の皆様のご意見を伺ったうえで、地区ごとに施設の再配置計画を策定しています。</p> <p>公共施設マネジメントでは、施設の再編を通じて、地域の課題を解決し、「住み続けたい」と思えるような魅力的なまちづくりにつなげることが、大きな目的のひとつとなっています。西浦地区は市内でも人口減少、少子高齢化が進んでいる地区と認識しており、地域の課題解決につながるよう、本計画を着実に進めていくとともに、より良い施設としていくために、地域の皆様のご意見を伺いながら、施設の運用方法などについて、さらに検討を深めてまいります。</p>
3	C	<p>P35 配置ゾーニングに対する市民意見の聞き取り(2)アンケート結果で、A案B案C案D案の横棒グラフがありますが、この数値の単位は「人」ですか？「割合」ですか？もし「人」であれば、全員で34人分の結果しか得られていない中で、統計として有効とは思えませんがいかがですか？</p>	<p>アンケート結果の単位は人です。「単位：人」という表記を追記します。</p> <p>このアンケートは、統計的に案の優劣を判断するためではなく、施設関係者で検討した案を地区住民の皆様にお示しし、思いや参考となる意見がないか聞き取りをする目的で実施したものです。</p> <p>アンケートでは貴重なご意見を多くいただいており、その結果を基本計画図に反映しております。</p>
4	C	<p>P36 地域住民の意見まとめで、P35のアンケート結果ではC案が多いとなっていて整合していないまとめ方をされていますが、D案へ導いているのはなぜで</p>	<p>アンケートでいただいた意見などから、西浦町の皆さんは、防災への関心が非常に高く、施設整備にあたって防災面を重視していることがわかりました。</p>

No	提出者	意見の概要	意見に対する考え方
		しょうか？	<p>防災面に関する意見として、C案に期待する人は「建物が高台（現校舎が建つ部分）にあり、防災面で安心」という意見があり、D案に期待する人からは「防災面で八王子神社の急斜面が不安なので低い土地（現グラウンド部分）に建てた方が良い」という意見をいただいております。</p> <p>そこで両案の課題を施設整備において解決する手法がないか検討した結果、八王子神社の急斜面から離れたグラウンドに建物を配置するD案をベースに、公民館、体育館の建物部分の地盤をかさ上げし、さらに校舎の屋上に隣接する保育園の園児・職員も含めて避難が可能な「屋上退避場所」を設けることにしました。これにより、それぞれの案にご期待いただいた方のご意見にも対応できるものと考えています。</p>
5	C	P37 配置ゾーニングの決定では、市民意見よりも施設関係者の意見を反映させたD案としているが、市民意見の多かったC案にしない理由をもう少ししっかり示していただきたい。	<p>アンケートは、統計的に案の優劣を判断するためではなく、施設関係者で検討した案を地区住民の皆様にお示しし、思いや参考となる意見がないか聞き取りをする目的で実施したものです。</p> <p>D案の配置をベースに地盤の一部嵩上げや屋上避難場所の設置をすることで、C案、D案それぞれに期待いただいた方の思いを実現できると考え、D案の配置をベースに検討を進めました。</p> <p>D案の配置をベースに検討することとなった理由については、上記のような内容を、基本計画書 P37 に追記させていただきます。</p>
6	C	P39 小中学校の必要所室の大きさや設置数で、なぜ校長が小学校と中学校でそれぞれ必要なのか？校舎が1つにするなら校長や各教員の役割も重複する部分が増える訳なので、校長数や教員数も見直しすべきではないでしょうか？	<p>西浦小学校・中学校については、小中一貫教育を導入する方針ですが、小中一貫教育における教育制度についてはまだ決定していません。</p> <p>小中一貫教育の制度の主な形態としては、①一つの教職員組織（校長1名体制）の下で、義務教育9年間の学校教育目標を設定する「義務教育学校」、②基本的な小学校・中学校の枠組みを残したまま、教育課程・教員組織を柔軟に形成する「施設一体型の小中一貫型小学校・中学校」、の2つがあり、市教育委員会にて、教育効果の研究・検討を進めたうえで選択することになっています。なお、校長数や教員数については、小中一貫教育の形態に従い、確定するものとなっています。</p> <p>本基本計画書（案）においては、上記のいずれかに決定しても対応できるように、必要諸室を設定しています。今後の詳細設計の段階で、選択される小中一貫教育の制度に合わせ、校長室等の諸室は見直してまいります。</p>
7	C	P41 駐車台数の検討で、利用者の駐車スペースの確保が少なすぎると思います。職員や施設関係者以外に駐車できるスペースはもう少し検討していただきたい。	<p>駐車場の確保は、施設を整備するうえで大変重要な要素であると認識しています。</p> <p>本基本計画書（案）においては、施設管理者とも協議をしたうえで、公民館利用者用の駐車スペースとして21台（現在16台）を確保しています。また、児童クラブ送迎用の駐車スペース（現在は職員用も含め児童館の駐車場16台を兼用）は、公民館の駐車場のうち5台分を兼用としておりますが、駐車スペースの効率的な利用の観点から、公民館の駐車場全体を兼用することといたします。なお、小中学校の来客用駐車スペースは、現在小学校4台、中学校2台となっておりますが、学校間での融通は可能であるため、多い方に合わせて4台分を予定しています。</p> <p>このように施設整備後も現在の駐車スペースは確保しており、現在の利用状況を踏まえると駐車スペースが不足しているとは考えておりませんが、今後、本計画の第7章で示しているような交流の活性化や活動の拡大・拡充が図られることで、施設利用者が増えていくことも想定されます。そのため、小学校、中学校、公民館さらに保育園とも連携をとり、多くの人々が参加するイベント開催時はグラウンドの活用など運用上の工夫を講ずるとともに、今後実施設計を行っていく中でさらなる駐車スペースの確保についても検討をしていきたいと考えています。</p>
8	C	P46 公民館で設置させる給湯室の給湯設備は、電気式か？ガス式か？避難所であれば全てとは言いませんが、ガス式も整備していただきたい。	<p>本基本計画書（案）では、公民館の給湯設備の詳細まで検討を行っていませんが、ご指摘のとおり、災害時の機能確保は重要であると考えています。第5章において、空調機器や学校の家庭科室の調理器具は熱源の多重化を検討することとしており、公民館の給湯設備についても、同様の検討を行いたいと考えています。</p>
9	C	P50 南東からみた鳥瞰イメージパース図では、校舎からプールまで屋根の無い通路となっているが、雨天時のプール利用は校舎から傘をさして移動することを想定しているのでしょうか？	<p>プールへの通路の屋根の有無など、詳細な内容については実施設計を行うなかで検討してまいります。雨天時のプール利用の有無など、施設の運用も踏まえて、必要性について検討してまいります。</p>